

鳥類に優しい水田がわかる生物多様性の調査・評価マニュアル 野外携帯版【未指定の地域編】

- 対象地域：未指定の地域（北海道、沖縄県を除く）
- 所在する地域以外の付帯条件：なし
- 概要：指標生物3種類を調査→指標生物・希少種のスコアを合計→評価

サギ類



ダイサギ



アオサギ

サギ類全種の
個体数



双眼鏡で目視



5-10分

50m以上離れた
車内から観察

アシナガ グモ類



アシナガグモ



ヤサガタ
アシナガグモ

アシナガグモ
類全種（体長
>3mm）の
個体数



捕虫網で採集



20回

1ほ場で2か所

植物 (6種群)



ウキクサ類



ムラサキサギゴケ



シシバリ類



ミソソバ



チドメグサ類



ヨモギ類

6種群の出現の有無



本田・畦畔を目視



本田を一周

指標生物

調査方法

スコア化

評価

基礎点(必須)

指標生物	地域	基礎点(未指定の地域)		
		0点	1点	2点
サギ類	全国共通	1羽未満	1羽以上 3羽未満	3羽以上
アシナガグモ類	青森、岩手、宮城、 福島(会津を除く)	5匹未満	5匹以上 15匹未満	15匹以上
	長野、山梨	5匹未満	5匹以上 18匹未満	18匹以上
	京都、奈良、大阪、 兵庫	5匹未満	5匹以上 15匹未満	15匹以上
	中・西国(5月中旬 までに田植え)	3匹未満	3匹以上 9匹未満	9匹以上
	九州(5月中旬まで に田植え)	10匹未満	10匹以上 15匹未満	15匹以上
指標植物(6種)	全国共通	2種未満	2種以上 3種未満	3種以上

希少種(任意)



水鳥 1点



カエル 1点



植物 1点

希少種の例



チュウサギ
(準絶滅危惧)



ナゴヤダルマガエル
(絶滅危惧IB類)



シャジクモ
(絶滅危惧II類)

合計点による評価



5点以上 ⇒ **S** 非常に良い ⇒ 取組を**継続**
 3～4点 ⇒ **A** 良い ⇒ 取組を**継続**
 1～2点 ⇒ **B** やや悪い ⇒ 取組を**改善**
 0点 ⇒ **C** 悪い ⇒ 取組を**改善**

指標生物の見分け方

ダイサギ



頭部(4月~7月)



緑色
↓
8月下旬以降は色が薄くなる

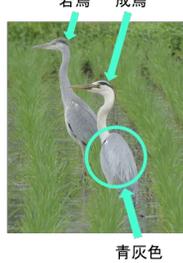
黒色
↓
8月下旬以降は黄色に変わる

黒色

形態: 体長約90 cm。翼を広げた幅は100~120 cm。他のサギ類より首、足、くちばしが長い。体色は白色、足は黒色で、くちばしの付け根から目先までが緑色。

生態: 平地で1年中見られ、春から夏に雑木林や河畔林などで繁殖する。湛水された水田では魚類、両生類、水生昆虫類を餌とする。

アオサギ



若鳥 成鳥

青灰色



黒色の羽 黄色

形態: 体長約95 cm。翼を広げた幅は約160 cm。体の上面は青灰色で、目の上部から後頭部に黒色羽がある。くちばしは黄色だが、上部は黒ずむ。足は黄褐色。首の色は成鳥と若鳥で異なる。

生態: 水田、湖沼、河川、干潟などの水辺に生息する。魚類、両生類、昆虫類、エビ・カニ類を餌とする。

チュウサギ



頭部(4月~7月)



黒色
↓
8月下旬以降は黄色に変わる

黄色

黒色

形態: 体長約70 cm。翼を広げた幅は約110 cm。体の大きさは、サギ類の中で中くらい、体色は白色、足は黒色で、くちばしの付け根から目先までが黄色。

生態: 北海道以外で繁殖するが、春~夏のみ生息する。水田や水路を利用するが、休耕田や畑などの乾燥した場所もよく利用する。

コウノトリ



野生復帰されたコウノトリ (足環が装着されている)

体色は白と黒のツートン

足は朱色

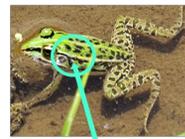
形態: 体長約110 cm。翼を広げた幅は約200 cm。日本では最も大きい部類。体色は白と黒のツートンで、翼の先が黒い。くちばしは黒色。目の周りは赤色。足は朱色で長い。

生態: 山間部の水田、池沼、河川のある里に生息する。水田や水辺の魚類、両生類、昆虫類、エビ・カニ類を餌とする。

ナゴヤダルマガエル



ナゴヤダルマガエル(成体)



トノサマガエル(成体)

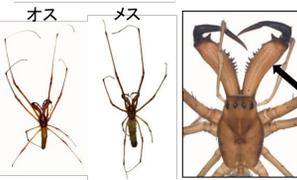
耳の後ろで黒い線が途切れる

耳の後ろで黒い線が途切れず、まっすぐ延びる

形態: 体長は♂3.5~6 cm、♀4~7 cm。体色は背部が緑褐色で、白色の腹部に網目状の斑紋が入るのが特徴。類似種のトノサマガエルとは、耳後部の線が異なる。

生態: 東海から瀬戸内(山口県以外)の水田、水路、小河川に生息する。水田には4~7月の繁殖期によく見られる。

アシナガガモ類



オス

メス

大きな上あご

アシナガガモ

頭胸部の拡大(10倍)

形態: 成体(*)は大きな上あごをもつ。体と足が細長く他のクモと容易に識別できる。

生態: イネの株間などに水平な丸い網(円網)を張る。日中は足を伸ばした格好で葉の上にいることが多い(口絵写真参照)。

*成体:大人になった昆虫を成虫というが、クモでは成体という。

ウキクサ類



ウキクサ
↓
根は多数



コウキクサ
↓
根は1本

形態: 葉を水面に浮かべて、浮遊する植物。根も水中で浮遊。ウキクサの葉は円形で直径約10 mm。アオウキクサとコウキクサの葉は楕円形で長径約4 mm。

生態: ほぼ全国の水田・水路・池沼に分布。アオウキクサは冬に枯れる一年草だが、ウキクサとコウキクサは越冬する多年草。

ムラサキサギゴケ



地面を這う茎を伸ばして増えるムラサキサギゴケ



花色の変異がある

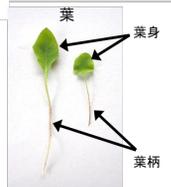
形態: 発芽した年は根元から放射状に多数の葉をつける株だが、地面を這う茎を伸ばして増えて、やがてマット状に群生する。草高は約10 cm。

生態: 北海道・沖縄を除く全国の湿った畦畔、草地に生える多年草。花期は4~6月頃で、主に淡いピンク色の花をつけるが、白色や紫色の場合もある。

ジシバリ類



オオジシバリの花



オオジシバリ

ジシバリ

葉長:約20 cm

約10 cm

形態: 地面を這うように伸びる茎から、長い葉柄を持つ葉が立ち上がる。葉身の形はジシバリが円形、オオジシバリがへら形で、オオジシバリの方が大きい。

生態: ほぼ全国の畦畔、路傍、畑に生える多年草。4~6月に、タンポポクに似た黄色の花をつける。果実に冠毛があって飛ぶ。

ミゾソバ



ミゾソバの花と葉

茎にトゲ状の毛がある

葉の基部が横に突き出る

茎の先端に花を多数つける

形態: 茎は下部が地を這い、長さ30~100 cmで、下向きの小さいトゲ状の毛がある。葉の基部が両側に突き出ており、葉全体の形が「牛の顔」に似る。

生態: ほぼ全国の畦畔、水路、水辺など、湿った場所に生育する一年草。7~10月に、ピンク色の花を枝先に多数つける。

チドメグサ類



葉の切れこみ

浅い

中くらい

深い

花が葉より上に出る

オオチドメ

チドメグサ

ノチドメ

形態: 地面を這う茎の節から根と葉を出す。葉には長さ3~5 cmの柄があり、柄の先に1枚の葉をつける。葉は円形で、基部がハート形になる。種によって、葉の切れこみ・光沢が異なる。

生態: ほぼ全国の畦畔、畑地、芝地に生える多年草。花期は6~9月。明るい場所を好む。

ヨモギ類



畦畔で密生するヨモギ

↓
地中を横に伸ばした根茎から多数の芽を出して、密生する



下部の葉はギザギザに切れこむ

葉(裏面)

白い綿毛が密生

形態: 草高は1 mにも及ぶ植物だが、畦畔では草刈りによって低く抑えられる。茎下部の葉はギザギザに深く切れ込み、裏面は白色で、綿毛が密生する。

生態: 北海道を除く全国の畦畔、路傍、畑に生える多年草。地中を横に伸びる茎(根茎)から芽を出して増える。花期は秋。

記入例（宮城県の例）： 青字が記入か所（実際に記入する時は、黒字で記入する）

指標生物調査 データ記入シート(個体数・種数を記録し、総スコアを計算する)

指標生物3種類

調査地名: 大崎市田尻蕪栗	調査ほ場: 大崎1-1	調査年: 2020
----------------------	--------------------	------------------

(調査地名はできるだけ詳しく記入してください)

指標生物 (調査した指標生物に○)	個体数または種数					評価		
サギ類 離れた場所からの 本田・畦畔見取り (5~10分)	1回目	2回目	3回目	4回目	合計 1羽	希少種による 加点 有・無	スコア 2点	
	月日: 5/30 時刻: 9:00 天気: 晴れ	月日: 6/3 時刻: 9:00 天気: くもり	月日: 6/4 時刻: 7:00 天気: 晴れ	月日: 6/10 時刻: 9:00 天気: くもり				
	0羽	0羽	1羽	0羽				
魚類 または カブトエビ類 トラップによる採捕(10か所)	トラップ回収月日: 時刻:					合計 匹	希少種による 加点 有・無	スコア 点
	1か所目	2か所目	3か所目	4か所目	5か所目			
	匹	匹	匹	匹	匹			
	6か所目	7か所目	8か所目	9か所目	10か所目			
匹	匹	匹	匹	匹	匹	匹	有・無	点
アシナガガモ類 すくい取り(20回振り)	調査月日: 7/24 時刻: 9:00-9:30 天気: 晴れ					合計 20匹	絶滅危惧種 による 加点 有・無	スコア 2点
	1か所目		2か所目					
	12匹		8匹					
アカネ類 (羽化殻または成虫) またはイトトンボ類成虫 畦畔ぎわ見取り (イネ3株×20m)	調査月日: 時刻: 天気:					合計 匹	絶滅危惧種 による 加点 有・無	スコア 点
	1か所目	2か所目	3か所目	4か所目				
	匹	匹	匹	匹				
水生コウチュウ類成虫 たも網すくい取り(1m×5回)	調査月日: 時刻: 天気:					合計 匹	絶滅危惧種 による 加点 有・無	スコア 点
	1か所目	2か所目	3か所目	4か所目				
	匹	匹	匹	匹				
水生カメムシ類 (成虫と幼虫の合計) たも網すくい取り(1m×2回)	調査月日: 時刻: 天気:					合計 匹	絶滅危惧種 による 加点 有・無	スコア 点
	1か所目	2か所目	3か所目	4か所目				
	匹	匹	匹	匹				
指標植物 (出現した種に○をつける) 本田・畦畔見取り(ほ場1周)	調査月日: 6/3 時刻: 10:00-11:00 天気: くもり					合計 3種	絶滅危惧種 による 加点 有・無	スコア 2点
	ウキクサ類 ・ ジシバリ類 ・チドメグサ類							
	ムラサキサギゴケ・ミソソバ・ ヨモギ類							
合計(総スコア)								6点

希少種・絶滅危惧種(出現した種名を記録する)

水 鳥: **チュウサギ**
 カエル類: なし
 植物: 調査していない

メモ(気づいたこと、可能であれば種名など):
 チュウサギ1羽が本田でオタマジャクシを食べていた。
 ウキクサ類は、水田のほとんど全面を覆っていた。

注意点

- ・意図的に持ち込んだ生物は評価から除外する。
- ・希少種による加点は特典であり、指標生物による基礎点だけで評価可。

指標生物調査 データ記入シート(個体数・種数を記録し、総スコアを計算する)

指標生物3種類

調査地名: _____ 調査ほ場: _____ 調査年: _____

(調査地名はできるだけ詳しく記入してください)

指標生物 (調査した指標生物に○)	個体数または種数					評価					
	サギ類 離れた場所からの 本田・畦畔見取り (5~10分)	1回目	2回目	3回目	4回目		合計	希少種による 加点 (水鳥)	スコア		
月日: 時刻: 天気:		月日: 時刻: 天気:	月日: 時刻: 天気:	月日: 時刻: 天気:							
羽		羽	羽	羽							
	羽	有・無	点								
魚類 または カブトエビ類 トラップによる採捕(10か所)	トラップ回収月日: _____ 時刻: _____					合計	希少種による 加点 (水鳥)	スコア			
	1か所目	2か所目	3か所目	4か所目	5か所目						
	匹	匹	匹	匹	匹						
	6か所目	7か所目	8か所目	9か所目	10か所目						
	匹	匹	匹	匹	匹	匹	有・無	点			
アシナガグモ類 すくい取り(20回振り)	調査月日: _____ 時刻: _____ 天気: _____					合計	絶滅危惧種 による加点 (カエル類)	スコア			
	1か所目								2か所目		
	匹								匹		
	匹		有・無		点						
アカネ類 (羽化殻または成虫) またはイトトンボ類成虫 畦畔ぎわ見取り (イネ3株×20m)	調査月日: _____ 時刻: _____ 天気: _____					合計	絶滅危惧種 による加点 (カエル類)	スコア			
	1か所目	2か所目							3か所目	4か所目	
	匹	匹							匹	匹	
	匹		有・無		点						
水生コウチュウ類成虫 たも網すくい取り(1m×5回)	調査月日: _____ 時刻: _____ 天気: _____					合計	絶滅危惧種 による加点 (カエル類)	スコア			
	1か所目	2か所目							3か所目	4か所目	
	匹	匹							匹	匹	
	匹		有・無		点						
水生カメムシ類 (成虫と幼虫の合計) たも網すくい取り(1m×2回)	調査月日: _____ 時刻: _____ 天気: _____					合計	絶滅危惧種 による加点 (カエル類)	スコア			
	1か所目	2か所目							3か所目	4か所目	
	匹	匹							匹	匹	
	匹		有・無		点						
指標植物 (出現した種に○をつける) 本田・畦畔見取り(ほ場1周)	調査月日: _____ 時刻: _____ 天気: _____					合計	絶滅危惧種 による加点 (植物)	スコア			
	ウキクサ類・ジシバリ類・チドメグサ類										
	ムラサキサギゴケ・ミゾソバ・ヨモギ類										
	種					有・無		点			
合計(総スコア)								点			

希少種・絶滅危惧種(出現した種名を記録する)

水鳥:
カエル類:
植物:

メモ(気づいたこと、可能であれば種名など):